

### 第3回 21世紀の森整備構想区域内の土地利用に係る市民委員会 議事要旨

- I 開催日時：平成20年11月18日（火）13:35～15:10  
 II 開催場所：いわき市役所 市議会棟 第6委員会室  
 III 出席者

#### 1 委員

氏名	職名等		出席
中越 元子	いわき明星大学	薬学部教授	出席
遠藤 寿海	東日本国際大学	福祉環境学部准教授	出席
原田 正光	福島工業高等専門学校	建設環境工学科教授	出席
湯澤 陽一	生物研究家		出席
松崎 和敬	いわきの森に親しむ会	理事長	出席
富田 明雄	いわき地域環境科学会	副会長	出席
谷平 雅子	いわき地域学会	幹事	欠席
小島 秀雄	いわき市文化協会	会長	出席
山崎 建見	いわき青年会議所	事務局長	欠席
鈴木 優	平上荒川区	区長	出席
上遠野直人	いわき商工会議所	専務理事	出席
高木 徳美	公募委員		出席
橘 あすか			欠席

#### 2 事務局等出席者

		職名等	氏名
行政経営部	部長		仲野治郎
	次長		秋田幸雄
	行政経営課	課長	荒川信治
		主幹兼課長補佐	飯尾 仁
		係長	佐竹 望
	主査	小林真一	
農林水産部	林務課	主査	鈴木正幸
教育委員会	文化課	課長	加藤和夫

#### IV 次第

##### ○ 第3回委員会

- 1 開会
- 2 前回の議事要旨について
- 3 協議（今後の土地利用の方向性について）
- 4 その他
- 5 閉会

#### V 主な内容

##### (1) 前回の議事要旨について

- 前回の議事要旨について説明し、委員から了承された。
- 前回の委員会に関連する補足説明として、次の2点について委員に説明を行った。

- 緑地(森林)として管理する場合の維持管理について
- (仮称)いわき地域総合博物館や「あぶくま発見の旅サポート」の取組みについて

##### (2) 今後の土地利用の方向性について

- 今回の委員会の位置づけ、及び意見等のとりまとめイメージ(各委員の意見等をテーマ別に整理・集約し、意見書としてとりまとめる)について説明し、委員から了承された。
- 前回の委員会における意見・感想をもとに作成したとりまとめイメージをもとに、「文化コアの土地利用の方向性」「施設の取扱い」「用地取得時期」の3つのテーマについて、テーマに対する考え方や、その他の附帯意見について協議を行った。
- 今回の委員会の協議を踏まえ、次回の委員会において、意見書のとりまとめ案について協議することとなった。
- なお、各テーマに関する各委員の主な意見等の要旨は次のとおり。

##### <文化コアの土地利用の方向性について>

- ・オノカザサの生態分布などの現状が、21世紀の森整備構想(区域全体)策定時と異なっているため、21世紀の森整備構想(区域全体)の見直しにあたっては、区域の設定や名称など現状に即した形で行うべきという意見があり、附帯意見として記載することで委員の集約を得た。
- ・「新たな施設を整備しても既存の施設との連携が難しい」といった記載については、整備する施設の内容によっては、連携が可能となる可能性もあるため、この部分は削除すべきという意見があり、当該記載を削除することで委員の集約を得た。
- ・緑地として保全することについて、「里山として整備する」「現状のまま維持する程度の管理を行う」のいずれかを確認する質問があり、事務局から、「公有林が荒れないような、最低限の維持管理を行うこととし、散策路や東屋などの整備は想定していない」旨の回答があった。
- ・「将来世代の財産として引き継ぐべきである」といった考え方を追記してはどうかという意見があり、追記することで委員の集約を得た。
- ・民間が所有する中・南ゾーンも、緑地として保全することを誘導する仕組みがあるのかという質問があり、事務局から、既存の法令や要綱等による規制のほか、21世紀の森整備構想の基本理念などを踏まえ、相応しくないようなものであれば、整備しないような協力や理解を求め、場合によっては指導するような形で対応している旨の回答があった。

### <施設の取扱いについて>

- ・「博物館機能は整備しない」といった記載に関し、「機能」はネットワーク化などで充実すべきであり、文化コアにおいては、「施設」の整備を行わないという考え方であるため、「機能」を「施設」に修正すべきという意見があり、修正することで委員の集約を得た。
- ・史料等収納スペースの必要性や、「あぶくま発見の旅サポート」のような関連施設のネットワーク強化を図る拠点機能・事務局機能などの必要性についての意見を附帯意見に記載してはどうかという意見があり、附帯意見として記載することで委員の集約を得た。
- ・総合博物館に関して、文化コア整備基本構想策定当時の位置づけに関する記載と、現在の状況に関する記載の差異が、市民には分かりづらいので、一つに集約してはどうかとの意見があり、二つをまとめ、両者の違いが分かるように整理することで委員の集約を得た。
- ・用地取得時期に関する記載について、長文のため、文書を分割してはどうかとの意見があり、文書を要約・整理することで委員の集約を得た。